



会 社 名 株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ
代表者名 代表執行役社長 亀澤 宏規
(コード：8306、東証プライム市場・名証プレミアム市場)
問合せ先 財務企画部主計室 室長 高橋 昌久
(TEL. 050-3613-1179)

当社は、2025年8月4日に「2026年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」を開示いたしましたが、四半期連結財務諸表について、公認会計士等による期中レビューが完了しましたのでお知らせいたします。

以上



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場取引所 東・名

上場会社名 株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ

コード番号 8306 URL <https://www.mufg.jp/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 亀澤 宏規

問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部主計室 室長 (氏名) 高橋 昌久 (TEL) 050-3613-1179

配当支払開始予定日 —

特定取引勘定設置の有無 : 有

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,253,932	△7.7	708,535	△3.4	546,068	△1.8
2025年3月期第1四半期	3,525,017	27.1	733,359	1.1	555,894	△0.4

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 135,586百万円 (△86.3%) 2025年3月期第1四半期 992,877百万円 (△6.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期第1四半期	47.	55	47.	45
2025年3月期第1四半期	47.	50	47.	40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	401,041,048	21,256,938	5.0
2025年3月期	413,113,501	21,728,132	5.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 20,018,546百万円 2025年3月期 20,520,374百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	39.00	64.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績目標 (2025年4月1日～2026年3月31日)

2026年3月期の「親会社株主に帰属する当期純利益」は20,000億円を目標としております。(2025年5月15日公表の目標値から変更ありません。)

(当社グループは、銀行業、信託銀行業、証券業、クレジットカード・貸金業等の金融サービスを展開しておりますが、これらの業務には、経済情勢、相場環境等に起因するさまざまな不確実性が存在するため、業績予想に代えて、親会社株主に帰属する当期純利益の目標値を記載しております。)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	12,067,710,920株	2025年3月期	12,067,710,920株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	647,614,803株	2025年3月期	561,193,945株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	11,484,298,385株	2025年3月期1Q	11,703,738,307株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 有（任意）

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に適用される財務報告の枠組み	7
(4) 会計上の見積りの変更	7
(5) セグメント情報等の注記	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 継続企業の前提に関する注記	10
(8) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記	10
(9) 追加情報	10
期中レビュー報告書	12

(補足説明資料)

2026年3月期第1四半期決算説明資料

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

2025年8月4日（月）に当社ウェブサイトに掲載しております「決算ハイライト」において記載しております。

URL: <https://www.mufg.jp/ir/fs.html>

※上記ウェブサイトの財務情報 2025年度(2026年3月期)日本基準 第1四半期に掲載しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
現金預け金	109,095,437	105,201,744
コールローン及び買入手形	1,180,949	923,782
買現先勘定	18,856,895	16,440,452
債券貸借取引支払保証金	5,701,495	4,848,412
買入金銭債権	6,620,404	6,470,714
特定取引資産	26,142,919	24,591,646
金銭の信託	1,084,487	1,203,805
有価証券	86,125,371	80,709,711
貸出金	121,436,133	122,671,835
外国為替	1,913,526	2,592,666
その他資産	17,824,068	18,543,352
有形固定資産	1,240,104	1,217,202
無形固定資産	1,875,551	1,865,934
退職給付に係る資産	2,217,529	2,246,763
繰延税金資産	148,752	152,304
支払承諾見返	12,864,745	12,537,198
貸倒引当金	△1,214,870	△1,176,479
資産の部合計	413,113,501	401,041,048
負債の部		
預金	228,512,749	224,705,991
譲渡性預金	17,374,010	17,787,068
コールマネー及び売渡手形	5,072,926	5,534,300
売現先勘定	43,359,076	36,731,293
債券貸借取引受入担保金	699,852	700,771
コマーシャル・ペーパー	3,475,042	3,343,844
特定取引負債	19,362,603	18,508,764
借入金	22,101,954	21,481,784
外国為替	2,508,462	3,731,729
短期社債	1,373,236	1,384,207
社債	14,018,955	14,503,764
信託勘定借	4,937,999	3,649,630
その他負債	14,563,347	14,160,514
賞与引当金	251,665	130,530
役員賞与引当金	2,879	1,300
株式給付引当金	11,077	12,092
退職給付に係る負債	104,612	103,432
役員退職慰労引当金	813	767
ポイント引当金	7,730	8,325
偶発損失引当金	150,657	149,322
特別法上の引当金	5,295	5,354
繰延税金負債	540,770	527,476
再評価に係る繰延税金負債	84,903	84,644
支払承諾	12,864,745	12,537,198
負債の部合計	391,385,368	379,784,109

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
資本金	2,141,513	2,141,513
資本剰余金	—	11,053
利益剰余金	14,845,617	14,942,523
自己株式	△726,631	△896,462
株主資本合計	16,260,498	16,198,628
その他有価証券評価差額金	1,327,127	1,416,517
繰延ヘッジ損益	△894,227	△990,616
土地再評価差額金	122,400	121,836
為替換算調整勘定	3,198,279	2,785,592
退職給付に係る調整累計額	554,502	538,815
在外関係会社における債務評価調整額	△51,663	△55,812
在外関係会社における貸出金の評価差額金	3,457	3,584
その他の包括利益累計額合計	4,259,875	3,819,917
新株予約権	11	14
非支配株主持分	1,207,746	1,238,377
純資産の部合計	21,728,132	21,256,938
負債及び純資産の部合計	413,113,501	401,041,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
経常収益	3,525,017	3,253,932
資金運用収益	2,353,006	2,022,572
(うち貸出金利息)	1,186,309	968,208
(うち有価証券利息配当金)	444,660	412,039
信託報酬	35,189	37,894
役務取引等収益	557,301	566,731
特定取引収益	108,099	80,557
その他業務収益	178,316	239,531
その他経常収益	293,104	306,645
経常費用	2,791,657	2,545,396
資金調達費用	1,529,894	1,331,819
(うち預金利息)	601,433	494,993
役務取引等費用	109,357	105,128
特定取引費用	—	37,769
その他業務費用	57,076	114,189
営業経費	844,873	796,719
その他経常費用	250,456	159,770
経常利益	733,359	708,535
特別利益	7,612	22,870
固定資産処分益	7,612	5,315
子会社清算益	—	17,555
特別損失	4,909	2,791
固定資産処分損	2,079	2,723
減損損失	2,626	9
金融商品取引責任準備金繰入額	203	59
商品取引責任準備金繰入額	—	0
税金等調整前四半期純利益	736,062	728,615
法人税、住民税及び事業税	135,758	144,834
法人税等調整額	18,027	2,360
法人税等合計	153,786	147,194
四半期純利益	582,276	581,420
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,382	35,352
親会社株主に帰属する四半期純利益	555,894	546,068

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	582,276	581,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△193,254	84,962
繰延ヘッジ損益	△111,529	△94,270
土地再評価差額金	—	7
為替換算調整勘定	471,663	△279,302
退職給付に係る調整額	△11,344	△15,955
在外関係会社における貸出金の評価差額金	123	1,770
持分法適用会社に対する持分相当額	254,942	△143,046
その他の包括利益合計	410,601	△445,834
四半期包括利益	992,877	135,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	940,670	108,064
非支配株主に係る四半期包括利益	52,207	27,522

(3) 四半期連結財務諸表に適用される財務報告の枠組み

四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記は株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に準拠して作成しております。

(4) 会計上の見積りの変更

(貸倒引当金の算定に用いる信用格付制度の変更)

当社の主要な国内銀行連結子会社においては、信用リスクを評価するための統一的な基準として債務者区分と整合した信用格付制度を整備し、同制度に基づき決定された内部信用格付を用いて貸倒引当金を算定しております。当第1四半期連結会計期間より、信用リスク管理態勢の更なる向上を目的として新たな信用格付制度を導入したことに伴い、同制度に基づき貸倒引当金を算定しております。なお、当該見積りの変更が、当社の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(5) セグメント情報等の注記

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、業務執行の意思決定機関である経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、顧客特性・業務特性に応じてグループ一体となり包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社グループは、顧客・業務別のセグメントである、「リテール・デジタル事業本部」「法人・ウェルスマネジメント事業本部」「コーポレートバンキング事業本部」「グローバルコマーシャルバンキング事業本部」「受託財産事業本部」「グローバルCIB事業本部」「市場事業本部」及び「その他」を報告セグメントとしております。

リテール・デジタル事業本部

：リアル・リモート・デジタルを通じた、個人のお客さま（ウェルスマネジメントを除く）、法人に対する金融サービスの提供

法人・ウェルスマネジメント事業本部

：法人とウェルスマネジメントのお客さまに対する金融サービスの提供

コーポレートバンキング事業本部

：国内外の日系大企業に対する金融サービスの提供

グローバルコマーシャルバンキング事業本部

：海外の出資先商業銀行等を通じた、個人、中堅・中小企業に対する金融サービスの提供

受託財産事業本部

：国内外の投資家、運用会社、事業会社等に対する資産運用・資産管理・年金サービスの提供

グローバルCIB事業本部

：非日系大企業に対する金融サービスの提供

市場事業本部

：顧客に対する為替・資金・証券サービスの提供、市場取引及び流動性・資金繰り管理業務

その他

：上記事業本部に属さない管理業務等

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

当第1四半期連結累計期間より、事業本部間の粗利益・経費の配賦方法を変更しており、報告セグメントの利益の算定方法を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づいております。

2 報告セグメントごとの粗利益及び営業純益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 百万円)

	リテール・デジタル事業本部	法人・ウェルスマネジメント事業本部	コーポレートバンキング事業本部	グローバルコマーシャルバンキング事業本部	受託財産事業本部	グローバルCIB事業本部	顧客部門小計	市場事業本部	その他	合計
粗利益	220,913	160,623	257,388	365,398	110,445	231,462	1,346,232	205,543	△13,407	1,538,368
経費	162,767	105,228	94,700	185,824	77,406	110,408	736,335	78,071	38,486	852,894
営業純益	58,146	55,394	162,687	179,573	33,039	121,054	609,896	127,471	△51,893	685,474

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、粗利益を記載しております。

2 粗利益には、資金運用収支、信託報酬、役務取引等収支、特定取引収支及びその他業務収支を含んでおります。

3 経費には、人件費及び物件費を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	リテール・デジタル事業本部	法人・ウェルスマネジメント事業本部	コーポレートバンキング事業本部	グローバルコマーシャルバンキング事業本部	受託財産事業本部	グローバルCIB事業本部	顧客部門小計	市場事業本部	その他	合計
粗利益	253,050	196,108	245,138	195,529	138,751	221,992	1,250,571	163,035	△47,375	1,366,230
経費	188,831	110,496	97,989	108,423	101,850	111,709	719,301	79,229	25,452	823,983
営業純益	64,219	85,611	147,149	87,106	36,901	110,282	531,270	83,806	△72,828	542,247

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、粗利益を記載しております。

2 粗利益には、資金運用収支、信託報酬、役務取引等収支、特定取引収支及びその他業務収支を含んでおります。

3 経費には、人件費及び物件費を含んでおります。

3 報告セグメントの営業純益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

営業純益	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	685,474	542,247
報告セグメント対象外の連結子会社の業務純益	△104	△147
一般貸倒引当金繰入額	△30,593	13,392
与信関係費用	△171,333	△83,623
偶発損失引当金戻入益(与信関連)	2,713	—
償却債権取立益	32,449	23,293
株式等関係損益	55,672	30,312
持分法による投資損益	143,090	157,954
その他	15,991	25,106
四半期連結損益計算書の経常利益	733,359	708,535

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(8) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	97,779百万円	88,795百万円
のれん償却額	9,348百万円	9,389百万円

(9) 追加情報

(貸倒引当金の算定について連結財務諸表利用者の理解に資する情報)

当社の主要な国内銀行連結子会社における貸倒引当金の算定プロセスには、取引先の債務償還能力を評価・分類した内部信用格付の決定、取引先から差し入れられた担保の価値の評価、キャッシュ・フロー見積法を適用する場合における将来キャッシュ・フローの見積り、及び、過去実績を基に算定した損失率への将来見込み等による調整といった種々の見積りが含まれております。

このうち内部信用格付は、取引先の決算情報に基づく財務定量評価に加え、現時点及び将来の取引先が属する業界環境や、経営リスク、資金調達リスク等の定性要因を基に決定しております。特に、特定の取引先の内部信用格付については、将来の業績回復見込みや事業の継続可能性の判断に高度に依存して決定される場合があります。

主要な国内銀行連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行(以下、「三菱UFJ銀行」という。)では、破綻懸念先及び今後の管理に注意を要する債務者に対する債権のうち、債権の元本の回収及び利息の受取りに係るキャッシュ・フローを合理的に見積ることができる債権については、キャッシュ・フロー見積法に基づいて貸倒引当金を計上しております。当該将来キャッシュ・フローの見積りは、過去の回収実績、取引先の再建計画等の評価、財政状態・経営成績、取引先の属する業界の経済環境等を含む、債権の回収可能性に係る個別判断に基づき算定しております。この点、将来キャッシュ・フローの見積りは、取引先の将来の業績回復見込みや事業の継続可能性の判断に高度に依存して決定される場合があります。特に、破綻懸念先に対する債権の回収可能性の判断において、客観的な情報を入手することが困難である場合には、見積りの不確実性が高いものとなります。

また、三菱UFJ銀行では、貸倒引当金の算定にあたり、主として貸倒実績又は倒産実績を基礎とした貸倒実績率又は倒産確率の過去の一定期間における平均値に基づき損失率を求め、これに将来見込み等必要な調整を加えて、損失率を算定しております。

この過去実績を基に算定した損失率への将来見込み等による調整は、特に、ロシア・ウクライナ情勢及び各国の通商政策の動向等に起因する不透明な事業環境を踏まえ、過去実績を基に算定した損失率では捕捉されない追加予想損失額を考慮する等により、必要と認められる場合に実施しております。当該調整による影響額は、39,248百万円(前連結会計年度末は33,610百万円)であります。

このほか、I F R S会計基準を適用する一部の在外子会社については、I F R S第9号「金融商品」に従い、貸倒引当金を計上しております。各決算日において、各金融資産に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大しているかどうかを評価し、信用リスクが当初認識以降に著しく増大していない場合には、当該金融資産に係る貸倒引当金を12ヵ月の予想信用損失に等しい金額で計上しております。一方、各金融資産に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大している場合には、当該金融資産に係る貸倒引当金を全期間の予想信用損失に等しい金額で計上しております。当該予想信用損失は、マクロ経済変数を用いて経済予測シナリオを反映する定量モデルにより算定され、この算定プロセスには、複数の経済予測シナリオに係るマクロ経済変数及びそれぞれの経済予測シナリオに付与されるウェイト比率等の決定が含まれます。更に、定量モデルには反映されていない予想される信用損失を捕捉するために定性的な要因による調整が加えられております。

上記のような貸倒引当金の算定における主要な仮定には不確実性があり、特に、特定の取引先の将来の業績回復見込みや事業の継続可能性に対する判断、過去実績を基に算定した損失率への将来見込み等による調整、並びにI F R S会計基準を適用する一部の在外子会社における複数の経済予測シナリオに係るマクロ経済変数及びそのウェイト比率の決定ないし定性的な要因による調整は、各国の経済・物価情勢と金融・通商政策、地政学的な状況の変化等、客観的な情報を入手することが困難な経済環境に係る見積りに基づいております。

特にロシア・ウクライナ情勢及び各国の通商政策の動向等の今後の見通しは高い不確実性を伴うことから、現在のロシア・ウクライナ情勢が当面継続する、各国の通商政策は、一時的な制度変更等が生じる可能性はあるが総じて景気・物価動向に配慮した運営がなされる等、一定の仮定を置いた上で、客観性や合理性を確保した最善の見積りを行っております。

当第1四半期連結会計期間において、ロシア・ウクライナ情勢及び各国の通商政策動向についての今後の見通しの前提となる事象又は状況に関して、前連結会計年度末から著しい変動は認められないため、当該仮定に重要な変更を行っておりません。なお、当該仮定についての不確実性は高く、取引先の経営状況及び経済環境への影響が変化した場合には、2026年3月期中間連結財務諸表以降に貸倒引当金が増減する可能性があります。

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年8月6日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ
東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 下津屋 恒一郎
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 松本 繁彦
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 内田 彰彦
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 大塚 嵩之

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループの2025年4月1日から2026年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2025年4月1日から2025年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

その他の事項

会社の2025年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表は、期中レビューが実施されていない。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査委員会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務

諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における執行役及び取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査委員会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記は期中レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期決算短信開示会社)が別途保管しております。
- 2 X B R LおよびHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。

2026年3月期第1四半期
決算説明資料

【目 次】

下記では、三菱UFJフィナンシャル・グループは「持株」、三菱UFJ銀行は「銀行」、三菱UFJ信託銀行は「信託」と省略して表示しております。
また、【2行合算】は、三菱UFJ銀行及び三菱UFJ信託銀行の単体ベースの単純合算であります。

1. 損益状況	【持株 連結】【2行合算】【銀行 単体】【信託 単体】	 1
2. 銀行法及び再生法に基づく債権	【持株 連結】【2行合算＋信託勘定】【銀行 単体】【信託 単体】【信託勘定】	 5
3. 有価証券	【持株 連結】【銀行 単体】【信託 単体】	 6
4. ROE	【持株 連結】	 9
5. 預貸金利回	【2行合算】【銀行 単体】【信託 単体】	 10
6. 預金、貸出金の残高	【2行合算】【銀行 単体】【信託 単体】	 11
7. 信託財産残高表	【信託 単体】	 12

1. 損益状況

【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

(単位:百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増 減
1 連結業務粗利益	1,358,416	1,535,602	△ 177,185
2 (信託勘定償却前連結業務粗利益)	(1,358,416)	(1,535,602)	(△ 177,185)
3 資金利益	690,788	823,128	△ 132,339
4 信託報酬	37,894	35,189	2,704
5 うち 与信関係費用(信託勘定)	-	-	-
6 役務取引等利益	461,602	447,944	13,658
7 特定取引利益	42,788	108,099	△ 65,311
8 その他業務利益	125,342	121,240	4,101
9 うち 国債等債券関係損益	△ 28,250	△ 12,680	△ 15,569
10 営業費	815,428	857,451	△ 42,022
11 うち のれん償却額	9,389	9,348	41
12 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定・のれん償却前)	552,377	687,499	△ 135,121
13 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	542,988	678,151	△ 135,162
14 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	13,392	△ 30,593	43,986
15 連結業務純益(注)(13+5+14)	556,381	647,557	△ 91,176
16 臨時損益(△は費用)	152,154	85,801	66,352
17 与信関係費用	△ 83,623	△ 171,333	87,709
18 貸出金償却	△ 41,280	△ 75,291	34,010
19 個別貸倒引当金繰入額	△ 38,164	△ 96,031	57,867
20 その他の与信関係費用	△ 4,178	△ 10	△ 4,168
21 貸倒引当金戻入益	-	-	-
22 偶発損失引当金戻入益(与信関連)	-	2,713	△ 2,713
23 償却債権取立益	23,293	32,449	△ 9,156
24 株式等関係損益	30,312	55,672	△ 25,360
25 株式等売却益	40,220	62,275	△ 22,055
26 株式等売却損	△ 8,680	△ 5,032	△ 3,648
27 株式等償却	△ 1,227	△ 1,571	344
28 持分法による投資損益	157,954	143,090	14,864
29 その他の臨時損益	24,218	23,210	1,008
30 経常利益	708,535	733,359	△ 24,824
31 特別損益	20,079	2,703	17,376
32 うち 固定資産処分損益	2,591	5,533	△ 2,941
33 うち 減損損失	△ 9	△ 2,626	2,617
34 うち 子会社清算益	17,555	-	17,555
35 税金等調整前四半期純利益	728,615	736,062	△ 7,447
36 法人税、住民税及び事業税	144,834	135,758	9,075
37 法人税等調整額	2,360	18,027	△ 15,667
38 法人税等合計	147,194	153,786	△ 6,591
39 四半期純利益	581,420	582,276	△ 856
40 非支配株主に帰属する四半期純利益	35,352	26,382	8,969
41 親会社株主に帰属する四半期純利益	546,068	555,894	△ 9,825

(注) 連結業務純益 = 子銀行単体業務純益 + その他連結会社粗利益 - その他連結会社営業経費
 - その他連結会社一般貸倒引当金繰入額 - のれんの償却費用(経常) - 内部取引

(参考)

42 与信関係費用総額(△は費用)(5+14+17+21+22+23)	△ 46,937	△ 166,763	119,826
-------------------------------------	----------	-----------	---------

【2行合算】

(単位:百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増 減
1 業務粗利益	767,758	833,219	△ 65,461
2 (信託勘定償却前業務粗利益)	(767,758)	(833,219)	(△ 65,461)
3 資金利益	459,685	484,432	△ 24,747
4 信託報酬	33,106	30,103	3,003
5 うち 与信関係費用(信託勘定)	-	-	-
6 役務取引等利益	194,504	189,937	4,567
7 特定取引利益	△ 5,100	1,833	△ 6,933
8 その他業務利益	85,561	126,913	△ 41,351
9 うち 国債等債券関係損益	△ 27,509	△ 12,739	△ 14,769
10 営業費	414,290	405,334	8,955
11 業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	353,468	427,885	△ 74,417
12 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	△ 626	△ 29,172	28,545
13 業務純益(11+5+12)	352,841	398,712	△ 45,871
14 臨時損益(△は費用)	83,028	51,078	31,950
15 与信関係費用	△ 5,010	△ 13,321	8,310
16 貸倒引当金戻入益	31,492	-	31,492
17 偶発損失引当金戻入益(与信関連)	92	2,689	△ 2,597
18 償却債権取立益	2,756	2,553	203
19 株式等関係損益	28,447	52,329	△ 23,881
20 株式等売却益	37,694	58,247	△ 20,553
21 株式等売却損	△ 7,744	△ 3,282	△ 4,462
22 株式等償却	△ 1,501	△ 2,636	1,134
23 その他の臨時損益	25,250	6,827	18,422
24 経常利益	435,870	449,790	△ 13,920
25 特別損益	29,276	5,708	23,568
26 税引前四半期純利益	465,147	455,499	9,647
27 法人税、住民税及び事業税	111,645	101,625	10,019
28 法人税等調整額	1,807	△ 7,360	9,167
29 法人税等合計	113,453	94,265	19,187
30 四半期純利益	351,694	361,233	△ 9,539

(参考)

31 与信関係費用総額(△は費用)(5+12+15+16+17+18)	28,704	△ 37,251	65,955
32 与信関係費用(信託勘定)	-	-	-
33 一般貸倒引当金繰入額	12,836	△ 29,172	42,008
34 個別貸倒引当金繰入額	16,333	△ 7,476	23,810
35 特定海外債権引当勘定繰入額	1,692	235	1,457
36 貸出金償却	△ 1,384	△ 5,834	4,450
37 偶発損失引当金繰入額(与信関連)	△ 3,291	2,689	△ 5,980
38 償却債権取立益	2,756	2,553	203
39 その他債権売却損等	△ 239	△ 245	5
40 コア業務純益(11-9)	380,977	440,624	△ 59,647
41 コア業務純益(除く投資信託解約損益)	363,026	343,692	19,334

【三菱UFJ銀行 単体】

(単位:百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増 減
1 業務粗利益	680,188	706,691	△ 26,502
2 資金利益	423,688	410,152	13,535
3 役務取引等利益	168,144	166,126	2,017
4 特定取引利益	△ 3,342	27,501	△ 30,843
5 その他業務利益	91,698	102,910	△ 11,212
6 うち 国債等債券関係損益	△ 27,810	△ 9,491	△ 18,319
7 営業費	360,087	352,363	7,723
8 うち のれん償却額	839	994	△ 155
9 業務純益(一般貸倒引当金繰入前、のれん償却前)	320,940	355,322	△ 34,382
10 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	320,101	354,327	△ 34,226
11 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	-	△ 29,102	29,102
12 業務純益(10+11)	320,101	325,225	△ 5,123
13 臨時損益(△は費用)	68,400	35,001	33,399
14 与信関係費用	△ 5,007	△ 13,321	8,313
15 貸倒引当金戻入益	31,492	-	31,492
16 偶発損失引当金戻入益(与信関連)	-	2,537	△ 2,537
17 償却債権取立益	2,755	2,552	203
18 株式等関係損益	18,681	40,866	△ 22,185
19 株式等売却益	27,115	45,546	△ 18,430
20 株式等売却損	△ 7,732	△ 3,278	△ 4,454
21 株式等償却	△ 701	△ 1,401	699
22 その他の臨時損益	20,478	2,366	18,112
23 経常利益	388,501	360,226	28,275
24 特別損益	29,690	5,721	23,969
25 税引前四半期純利益	418,192	365,947	52,244
26 法人税、住民税及び事業税	107,739	96,856	10,882
27 法人税等調整額	△ 4,519	△ 13,606	9,086
28 法人税等合計	103,219	83,250	19,968
29 四半期純利益	314,972	282,697	32,275

(参考)

30 与信関係費用総額(△は費用)(11+14+15+16+17)	29,240	△ 37,334	66,574
31 一般貸倒引当金繰入額	13,463	△ 29,102	42,565
32 個別貸倒引当金繰入額	16,336	△ 7,476	23,813
33 特定海外債権引当勘定繰入額	1,692	235	1,457
34 貸出金償却	△ 1,384	△ 5,834	4,450
35 偶発損失引当金繰入額(与信関連)	△ 3,383	2,537	△ 5,921
36 償却債権取立益	2,755	2,552	203
37 その他債権売却損等	△ 239	△ 245	5
38 コア業務純益(10-6)	347,912	363,819	△ 15,907
39 コア業務純益(除く投資信託解約損益)	334,382	282,498	51,883

【三菱UFJ信託銀行 単体】

(単位:百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増 減
1 業務粗利益	87,569	126,527	△ 38,958
2 (信託勘定償却前業務粗利益)	(87,569)	(126,527)	(△ 38,958)
3 信託報酬	33,106	30,103	3,003
4 うち 与信関係費用(信託勘定)	-	-	-
5 資金利益	35,996	74,279	△ 38,283
6 役務取引等利益	26,360	23,810	2,550
7 特定取引利益	△ 1,757	△ 25,667	23,910
8 その他業務利益	△ 6,136	24,002	△ 30,139
9 うち 国債等債券関係損益	301	△ 3,248	3,549
10 営業費	54,202	52,970	1,231
11 業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	33,366	73,557	△ 40,190
12 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	△ 626	△ 69	△ 556
13 業務純益(11+4+12)	32,740	73,487	△ 40,747
14 臨時損益(△は費用)	14,628	16,077	△ 1,448
15 与信関係費用	△ 3	-	△ 3
16 貸倒引当金戻入益	-	-	-
17 偶発損失引当金戻入益(与信関連)	92	151	△ 59
18 償却債権取立益	1	1	0
19 株式等関係損益	9,766	11,462	△ 1,696
20 株式等売却益	10,578	12,701	△ 2,123
21 株式等売却損	△ 12	△ 4	△ 8
22 株式等償却	△ 799	△ 1,234	435
23 その他の臨時損益	4,771	4,461	310
24 経常利益	47,368	89,564	△ 42,195
25 特別損益	△ 413	△ 12	△ 400
26 税引前四半期純利益	46,955	89,551	△ 42,596
27 法人税、住民税及び事業税	3,906	4,768	△ 862
28 法人税等調整額	6,327	6,246	81
29 法人税等合計	10,233	11,015	△ 781
30 四半期純利益	36,721	78,536	△ 41,815

(参考)

31 与信関係費用総額(△は費用)(4+12+15+16+17+18)	△ 536	82	△ 619
32 与信関係費用(信託勘定)	-	-	-
33 一般貸倒引当金繰入額	△ 626	△ 69	△ 556
34 個別貸倒引当金繰入額	△ 3	-	△ 3
35 特定海外債権引当勘定繰入額	-	-	-
36 貸出金償却	-	-	-
37 偶発損失引当金繰入額(与信関連)	92	151	△ 59
38 償却債権取立益	1	1	0
39 その他債権売却損等	-	-	-
40 コア業務純益(11-9)	33,065	76,805	△ 43,740
41 コア業務純益(除く投資信託解約損益)	28,644	61,193	△ 32,548

2. 銀行法及び再生法に基づく債権

【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

部分直接償却後

(単位:百万円)

	2025年6月末	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	301,646	300,776
危険債権	650,596	693,225
要管理債権	506,060	536,469
三月以上延滞債権	18,260	17,863
貸出条件緩和債権	487,800	518,605
小計(A)	1,458,303	1,530,471
正常債権(B)	137,404,700	135,805,816
債権合計(C=A+B)	138,863,003	137,336,287
不良債権比率(A)/(C)	1.05%	1.11%

【2行合算+信託勘定】

部分直接償却後

(単位:百万円)

	2025年6月末	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	45,450	50,052
危険債権	403,208	448,449
要管理債権	341,278	365,391
三月以上延滞債権	9,834	9,236
貸出条件緩和債権	331,443	356,154
小計(A)	789,936	863,892
正常債権(B)	122,936,744	121,231,909
債権合計(C=A+B)	123,726,681	122,095,802
不良債権比率(A)/(C)	0.63%	0.70%

【三菱UFJ銀行 単体】

部分直接償却後

(単位:百万円)

	2025年6月末	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	45,400	50,002
危険債権	402,083	447,324
要管理債権	341,278	365,391
三月以上延滞債権	9,834	9,236
貸出条件緩和債権	331,443	356,154
小計(A)	788,762	862,718
正常債権(B)	120,054,918	118,665,863
債権合計(C=A+B)	120,843,680	119,528,581
不良債権比率(A)/(C)	0.65%	0.72%

【三菱UFJ信託銀行 単体】

部分直接償却後

(単位:百万円)

	2025年6月末	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	49	49
危険債権	1,124	1,124
要管理債権	-	-
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	-	-
小計(A)	1,174	1,174
正常債権(B)	2,879,481	2,563,577
債権合計(C=A+B)	2,880,655	2,564,752
不良債権比率(A)/(C)	0.04%	0.04%

【信託勘定】

部分直接償却後

(単位:百万円)

	2025年6月末	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	-	-
危険債権	-	-
要管理債権	-	-
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	-	-
小計(A)	-	-
正常債権(B)	2,345	2,468
債権合計(C=A+B)	2,345	2,468
不良債権比率(A)/(C)	-	-

3. 有価証券

【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

本表には「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の証券化商品等を含めて記載しております。

(単位:百万円)

	2025年6月末		2025年3月末	
	四半期連結貸借 対照表計上額	評価損益	連結貸借 対照表計上額	評価損益
満期保有目的の債券	24,030,408	△ 541,239	23,272,183	△ 625,190
債券	17,840,880	△ 411,064	17,115,009	△ 491,977
国債	13,704,158	△ 298,316	13,300,923	△ 369,059
地方債	2,656,496	△ 77,351	2,545,626	△ 93,140
社債	1,480,225	△ 35,396	1,268,459	△ 29,777
その他	6,189,527	△ 130,174	6,157,174	△ 133,213
外国債券	4,554,839	△ 135,871	4,690,276	△ 137,239
その他	1,634,688	5,697	1,466,897	4,026

(単位:百万円)

	2025年6月末		2025年3月末	
	四半期連結貸借 対照表計上額	評価損益	連結貸借 対照表計上額	評価損益
その他有価証券	55,146,618	2,322,186	61,321,796	2,203,663
株式	3,610,164	2,548,736	3,540,457	2,458,566
債券	17,262,785	△ 232,264	23,123,161	△ 249,533
国債	15,438,629	△ 145,179	21,181,296	△ 155,513
地方債	240,388	△ 7,549	309,997	△ 9,776
社債	1,583,767	△ 79,535	1,631,867	△ 84,243
その他	34,273,668	5,715	34,658,178	△ 5,368
外国株式	676,157	61,477	662,949	36,272
外国債券	24,374,688	△ 73,312	24,182,709	△ 113,323
その他	9,222,822	17,550	9,812,519	71,682

【三菱UFJ銀行 単体】

本表には「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の証券化商品等を含めて記載しております。

(単位:百万円)

	2025年6月末		2025年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価損益	貸借対照表 計上額	評価損益
満期保有目的の債券	21,863,022	△ 527,435	21,295,315	△ 607,764
子会社・関連会社株式	684,864	463,216	684,864	464,454

(単位:百万円)

	2025年6月末		2025年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価損益	貸借対照表 計上額	評価損益
その他有価証券	38,145,913	2,088,019	45,173,480	2,005,377
株式	3,081,569	2,127,449	3,012,332	2,044,936
債券	14,993,253	△ 129,445	20,849,312	△ 138,304
その他	20,071,090	90,014	21,311,835	98,744
外国株式	623,223	48,258	605,665	17,076
外国債券	13,266,592	74,840	13,651,795	88,819
その他	6,181,274	△ 33,083	7,054,373	△ 7,151

【三菱UFJ信託銀行 単体】

本表には「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中の証券化商品を含めて記載しております。

(単位:百万円)

	2025年6月末		2025年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価損益	貸借対照表 計上額	評価損益
満期保有目的の債券	2,167,385	△ 13,803	1,976,868	△ 17,426
子会社・関連会社株式	18,650	△ 1,404	19,189	△ 1,368

(単位:百万円)

	2025年6月末		2025年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価損益	貸借対照表 計上額	評価損益
その他有価証券	12,583,390	280,367	11,541,216	251,081
株式	593,577	424,893	588,732	413,329
債券	2,145,670	△ 102,931	2,181,927	△ 111,341
その他	9,844,142	△ 41,594	8,770,556	△ 50,907
外国株式	158	107	130	81
外国債券	7,779,196	△ 85,742	7,018,941	△ 123,179
その他	2,064,787	44,040	1,751,484	72,191

4. ROE

【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

(単位:%)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期
親会社株主に帰属する当期純利益ベース(東証基準)	10.78	11.18

5. 預貸金利回

【2行合算】

〔国内業務部門〕

(単位:%)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期
貸出金利回	1.06	0.82
預金等利回	0.17	0.01
預貸金利回差	0.89	0.80

〔政府等向け貸出金控除後〕

貸出金利回	1.13	0.87
預貸金利回差	0.95	0.86

【三菱UFJ銀行 単体】

〔国内業務部門〕

(単位:%)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期
貸出金利回	1.06	0.82
預金等利回	0.16	0.01
預貸金利回差	0.90	0.81

〔政府等向け貸出金控除後〕

貸出金利回	1.13	0.88
預貸金利回差	0.96	0.86

【三菱UFJ信託銀行 単体】

〔国内業務部門〕

(単位:%)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期
貸出金利回	0.91	0.64
預金等利回	0.29	0.05
預貸金利回差	0.62	0.59

〔政府等向け貸出金控除後〕

貸出金利回	0.91	0.74
預貸金利回差	0.62	0.68

6. 預金、貸出金の残高

【2行合算】

(単位: 百万円)

		2025年6月末	2025年3月末
預金	末残	212,429,174	215,970,679
	平残	215,871,764	215,144,567
貸出金	末残	111,456,580	110,082,264
	平残	111,050,972	110,710,718

(単位: 百万円)

		2025年6月末	2025年3月末
国内預金残高(末残)(注)		177,078,647	179,854,343
	うち個人預金	94,120,942	93,618,823

(注)譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。

【三菱UFJ銀行 単体】

(単位: 百万円)

		2025年6月末	2025年3月末
預金	末残	199,209,148	202,712,799
	平残	202,331,837	201,300,396
貸出金	末残	108,784,168	107,742,591
	平残	108,435,780	108,514,370

(単位: 百万円)

		2025年6月末	2025年3月末
国内預金残高(末残)(注)		166,129,469	169,250,502
	うち個人預金	87,951,024	87,578,130

(注)譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。

【三菱UFJ信託銀行 単体】

(単位: 百万円)

		2025年6月末	2025年3月末
預金	末残	13,220,026	13,257,880
	平残	13,539,927	13,844,171
貸出金	末残	2,672,411	2,339,672
	平残	2,615,191	2,196,348

(単位: 百万円)

		2025年6月末	2025年3月末
国内預金残高(末残)(注)		10,949,177	10,603,841
	うち個人預金	6,169,918	6,040,693

(注)譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。

7. 信託財産残高表【三菱UFJ信託銀行 単体】

(職務分担型共同受託財産合算分)

(単位: 百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産		
貸出金	1,507,955	1,362,207
有価証券	82,297,398	82,165,586
信託受益権	171,790,489	171,636,024
受託有価証券	3,182,746	3,849,959
金銭債権	37,473,051	38,296,464
有形固定資産	24,848,502	25,519,222
無形固定資産	229,603	237,119
その他債権	4,279,871	4,368,859
コールローン	5,651,749	5,178,027
銀行勘定貸	4,244,900	3,403,147
現金預け金	6,403,878	6,474,085
合計	341,910,148	342,490,703
負債		
金銭信託	39,222,424	36,268,216
年金信託	13,366,896	13,109,796
財産形成給付信託	5,228	5,184
投資信託	170,479,519	170,332,783
金銭信託以外の金銭の信託	7,388,623	8,093,513
有価証券の信託	5,392,692	5,956,839
金銭債権の信託	32,124,384	33,177,936
動産の信託	412,714	501,729
土地及びその定着物の信託	18,442	18,470
包括信託	73,499,220	75,026,233
合計	341,910,148	342,490,703

(注) 1. 三菱UFJ信託銀行株式会社と日本マスタートラスト信託銀行株式会社が職務分担型共同受託方式により受託している信託財産を合算しております。

2. 上記以外の自己信託に係る信託財産残高は前事業年度末32,651百万円、当第1四半期会計期間末43,468百万円であります。